

インターバンクの声（2016年12月22日）

オフィスには来ているものの、気持ちは既にクリスマス休暇入りしているディーラーも少なくないが、ポジションを持たないことを良しとしない我が社のボスの下ではクリスマスも正月もあまり関係ない。

そんな訳で正直あまり確固とした相場観がない中、月曜日のニューヨーク時間にドル円が116円台中盤まで下げた後、イエレン議長の講演発言を確認した後で117円ちょうど付近で小さくドルを買ってみた。その後、幸いドルが上がってくれて半分は118円手前で利喰えたが、残りの半分はもう少し上もあるだろうと欲を出して持ち越したままにしてしまった。昨夜はその残り半分分のポジション分の利益が消えそうな水準までドルが下落した時間帯が長く続き肝を冷やした。

運よく、11月の米中古住宅販売の数字が約10年ぶりの水準となったことで何とか救われたが、ドルの買い持ちは危ないような気がしてきた。年末まではドルが買われたところでドルの売り持ちを作るほうへ変更しようかと思っているが、足元の117円台中盤ではドルを売り難い。他社のディーラー仲間の相場観も強気・弱気が拮抗しており、オプションでも仕込もうかと思っている。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。